

自立分散型の持続可能社会を目指して

～地域エネルギープラットフォーム構築への取組み～

湘南電力株式会社

湘南電力

原 正樹



3. 11東日本大震災をきっかけに、ALL小田原による「エネルギーと地域経済の自立」を目指して設立

ほうとくエネルギー(株)



発電事業者 2012年12月設立 37社の地元企業による出資

- ・相原興業(株)
- ・(株)アクアクララ湘南
- ・(株)エスアールシー
- ・(株)太田機械
- ・(有)小田原植木
- ・(株)小田原魚市場
- ・(株)小田原衛生美化サービス
- ・**小田原ガス(株)**
- ・(一社)小田原市電設協力会
- ・(有)小田原ドライビングスクール
- ・(株)小田原百貨店
- ・小田原報徳自動車(株)
- ・久津間製粉(株)
- ・さがみ信用金庫
- ・新陽冷熱工業(株)
- ・(株)鈴廣蒲鋒本店
- ・(株)正英
- ・瀬戸建設(株)
- ・(株)セトプリント
- ・相洋産業(株)
- ・(株)ガイドフォーワード
- ・司建設(株)
- ・(株)T-FORESTRY
- ・(株)東海ビルメンテナンス
- ・(株)菜の花
- ・南開工業(株)
- ・(株)ニッショー
- ・ヒューマンズ・ネット(株)
- ・(株)二見
- ・(株)ブレイン・スタッフ
- ・松浦建設(株)
- ・(株)まるだい運輸倉庫
- ・(株)ミクニ
- ・(有)みのさんファーム
- ・森永牛乳西湘販売(有)
- ・(株)山安
- ・譲原建設(株)

地域電力の先駆けである「湘南電力」の株式を小田原ガスなど地元企業が取得して承継

湘南電力(株)

湘南電力

小売り事業者
2017年5月
小田原の企業が株式80%取得

- ・ **小田原ガス株式会社**
- ・ 株式会社古川
- ・ 株式会社アクアクララ湘南
- ・ 株式会社エナリス
- ・ ほうとくエネルギー株式会社
- ・ 有限会社オーワンカンパニー
(小田原衛生工業グループ)
- ・ 株式会社ニッショー
- ・ 株式会社REXEV
- ・ 株式会社湘南ベルマーレ

公共財としての**インフラ**=**社会的共通資本**を地域の企業で運営

人々の生活に欠かせない電気を、再エネを用いて地域で生み出し（地産）、それを供給する仕組みである**インフラ**を地域の企業で運営（地消）。

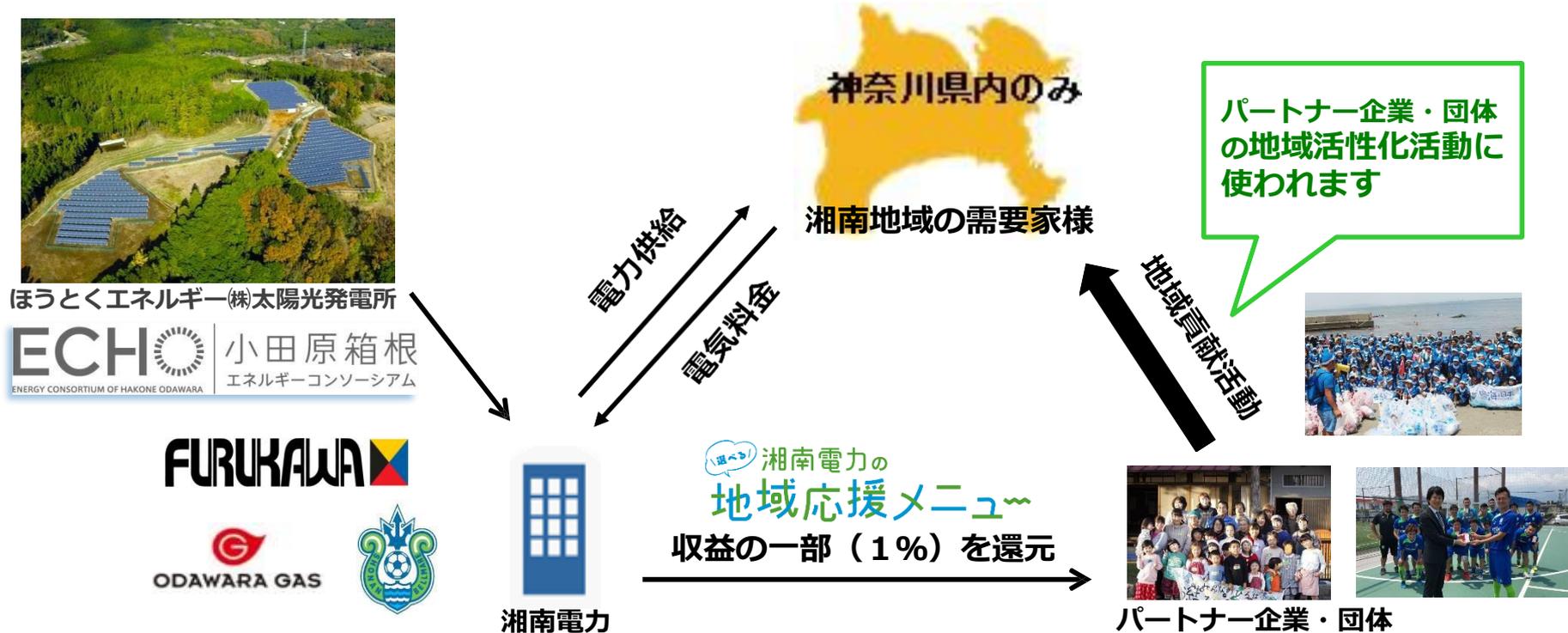
電気とお金が地域の中で循環する=**地域内経済循環**を実現し、
 持続可能なまちづくりのプラットフォームとなる
 自立分散型の電力供給システムにより、災害時のレジリエンスにも貢献

地域活性化の一翼を担う = **地方創生**

+

環境への貢献、地球温暖化対策、CO₂削減（脱炭素）

電気代が地域循環することで地域が活性化していく仕組みを創出する



地産地消

湘南電力は神奈川県内で発電された電力を積極的に調達し、神奈川県地域の企業等(電力消費者)に電力を安価に供給する。

地域貢献

湘南電力は事業収益性の一部を地域パートナーに還元し、地域活性化に貢献する

・ 0円ソーラー

神奈川県限定プラン 神奈川県補助金活用

湘南の0円ソーラー設置サービス
Powered by 湘南電力

太陽光発電システム
非常時に自家発電としても使える...

設置費用が **0円**

※サービスのご利用には一定の条件があり審査が必要です。

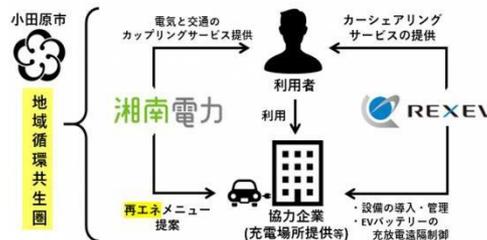
脱炭素社会
実現の第一歩

しかも...無償譲渡
10年保証には
11ヶ月間からは、太陽光発電システムの
使用メモリは全て無償で保証の範囲内!

私達も応援しています!
REXEV 天龍建設
FUKUDA 福田建設
ODAWARA OAS
湘南電力グループ

こんな方にピッタリ!
・太陽光パネルを検討している(検討していた)
・太陽光パネルを設置したいけど予算が足りない
・非常時に備えた自家発電システムが欲しい
・環境に優しい電気を使いたい

・ EVカーシェア



・ 環境価値循環PJ



「おだわらSDGs実行委員会」発足、神奈川県「SDGsパートナー」にも登録



はじめに

Think MIRAI

小田原から未来を考える

小田原は持続可能な地域目標(SDGs)を推進しています。

【特設サイトに掲載された取組】
SDGsを本業の小田原の強みと結びつけて、連携(連携)について考えるアクションするために特設したページです。連携への具体的な取組にも取り組んでいる状況をイメージしています。

小田原市では、「世界が憧れるまち」小田原の発展に向け、若者や女性活躍の機会創出に加え、質の力を最大限に発揮していただく公民連携の取組を推進しています。世界共通の目標であるSDGsを指印に、未来の小田原を牽引していくまちづくりの担い手とともに、持続可能な地域社会を創っていきましょう。

令和2年度の小田原のSDGsのテーマは「一歩を踏み出す」、本業の心あり、次世代の皆さんがSDGs達成に向けて「自分たちには何ができるか」といった目的意識が芽生え始めきています。若い皆さんにはこれまでの枠組みを超え、地域を、世界を、そして時代をつなぐ存在として輝いていただくことを願っています。

小田原市長 齊屋 輝彦
おだわらSDGs実行委員会 委員長 原 正樹



ご清聴ありがとうございました。